

別府を美しくするために行きたい。

西小学校 四年 中尾 海音

別府には、山や海があり、温泉もたくさんあるから、私が大好きな町です。大分から別府に帰る時、山のいろいところから湯けむりがあがり、とてもきれいな景色です。

私が、四才ぐらいの時、初めて湯けむりを見て、火事かと思いきりしました。でもお母さんが、

「あれは、湯けむりと言って火事じゃないよ」と教えてくれました。

春、山が緑にっつまれ、湯けむりが白くたちぼる風景を見ると、これからもずっずっ

と残していきたくないなあと思います。そのため、私たちにできる事を考えてみました。それは、「別府の宝である温泉を大切にしないといけない」ということです。

私は、今年の夏休みから「温泉名人」をめざしてがんばっています。ホテルの温泉や、町内の温泉、行楽地にある温泉などを家族で

めぐっていきます。

その時、私が感じたことは、温泉はきれいだけれど、着がえる所にゴミが落ちていたり、洗面所にかみの毛が落ちていて、きたないなあ、気持ち悪いなあと思いました。

別府の温泉には、別府の人以外にも、たくさんの方が入りに来ます。その時に湯けむりも「キレイ」、温泉も「キレイ」と思ってもうたいたいです。

そのため私は、気がついたらゴミを拾うようにしてあります。かみの毛もティッシュに集めてゴミ箱にすてるようにしました。自分がきれいにした所を見ると、とても気持ちいいです。私だけじゃなくあとから入ってくる人も気持ちがいいし、いつもきれいにしておくとよごす人もへると思います。

私が、大きくなった時も、別府がきれいな温泉であってほしいです。これからも、すすんでゴミを拾っていきたいです。